

DENIS

ドニ・クターニュ

ポール・セザンヌ協会会長 / 元グラネ美術館学芸課長

COUTAGNE

「ジャズ・ド・ブッフアンのセザンヌ
(Paul Cézanne, 1839-1906)」

(1859年(20歳)から1899年(60歳)までセザンヌがアトリエを構えた
ジャズ・ド・ブッフアンのセザンヌ家の邸宅での制作活動について)

5/11 (水)

17:50-19:20

京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス東構内デザイン・建築学系

東1号館2階E-121教室

使用言語：英語

交通案内：地下鉄(JR京都駅から国際会館行、
または阪急烏丸駅下車、四条駅から国際会館行)

松ヶ崎駅下車東へ徒歩20分

主催：京都工芸繊維大学造形科学域デザイン・建築学系造形史研究室

後援：日仏美術学会

問い合わせ先：t-nagai@kit.ac.jp

講師紹介

1947年生まれ。グルノーブル、リヨン、パリで哲学と美術史を学ぶ。
1974年、フランス国立美術館学芸員資格取得後、ブザンソン美術館
に勤務。1980年から2008年までグラネ美術館に勤務し、「サント・
ヴィクトワール山 セザンヌ展」(1990年)、「プロヴァンスのセザ
ンヌ展」(2006年)などを企画。その後、フリーの学芸員として
「セザンヌとパリ展」(2011年、パリ、リュクサンブール美術館)、
「セザンヌ パリ/プロヴァンス展」(2012年、国立新美術館)、
「クールベ/セザンヌ展」(2013年、オルナン、クールベ
美術館)を企画。Cézanne en vérité, 2006, Cézanne
abstraction faite, 2011など、セザンヌに関する著作多数。

